

# しが「読み解く力」～実践編～ 【中学校 音楽科】

- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



## 【中学校：音楽科】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる  
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

- ◇生徒が音楽に関する用語等を用いて、音楽によって喚起されたイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図等を相互に伝え合う活動を取り入れているか。

- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



題材名 「歌詞が表す情景や心情を思い浮かべ、曲想を味わいながら表現を工夫して歌おう」  
(中学校2学年)

「荒城の月」、「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、「早春賦」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、わが国で長く歌われている歌曲に親しむ。



- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

- ① 「荒城の月」、「早春賦」の歌詞の内容や曲想に関心をもつ。
- ② 「荒城の月」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取るとともに、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。

③ 「荒城の月」と対比しながら、「早春賦」の特徴を捉え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するとともに、音楽表現を創意工夫する。（本時）

④ 創意工夫を生かして、「早春賦」を歌う。

- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 **本時の目標**
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



「荒城の月」「早春賦」のそれぞれの音楽の特徴を知覚・感受し、音楽の構造との関わりを踏まえて曲にふさわしい音楽表現を追求することができる。





- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 **本時の流れ**
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

- ア 「早春賦」の歌詞が表す情景や心情を想像して歌う。
- イ 「荒城の月」と対比するなどして、「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚・感受する。
- ウ ペアやグループで意見交換をする。
- エ 知覚・感受したことをもとに、音楽表現を考える。
- オ 自分で歌唱しながら、表現方法を確かめる。

課題発見・解決のプロセス 課題を見つける ≧ 見通しをもつ ≧ 自分で考える ≧ 共に学び合う ≧ 学習をまとめる ≧ 学習を振り返る ≧ 新たな課題を見つける

**【課題を見つける】**

「早春賦」の歌詞が表す情景や心情を想像して歌う。

「荒城の月」と対比するなどして、「早春賦」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚・感受する。

**【共に学び合う】** ペアやグループで意見交換をする。

**【自分で考える】** 知覚・感受したことをもとに、音楽表現を考える。

**【学習をまとめる】** 自分で歌唱しながら、表現方法を確かめる。

課題発見・解決のプロセス      課題を見つける ≫ 見通しをもつ ≫ 自分で考える ≫ 共に学び合う ≫ 学習をまとめる ≫ 学習を振り返る ≫ 新たな課題を見つける



- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



- ・ 2曲を比較して、音楽を形づくっている要素を聴き取ろうとする姿。(A①)
- ・ 友達との交流の中で、気付かなかった要素を曲想と関連付けようとする姿。(A②・B②)
- ・ 再度、曲を歌唱・鑑賞することで自分の気付きと友達の気付きを照らし合わせ、「創意工夫した音楽表現について」自分の考えを再構築する姿。(A③・B③)



- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

○ 2曲を対比して、リズム、速度、旋律、強弱を知覚・感受する場面



「早春賦」は流れるように少し早く歌うといいかな。

「早春賦」はクレシェンドやデクレシェンドが何回も繰り返して出てくるな。



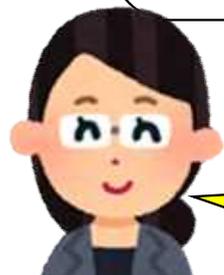
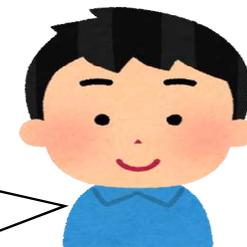


○ 2曲を対比して、リズム、速度、  
旋律、強弱を知覚・感受する場面



♪ = 116 と楽譜にも書いてあるように  
「荒城の月」よりも速い曲です。

1小節でクレッシェンドして、次の  
1小節でデクレッシェンドするように書  
かれています。



楽譜のどこを見たらわかるかな。



# ○歌詞と音楽要素の関連について着目する場面



「ときにあらずとこえもたてず」は2回歌うけれど2回目はPで歌うように書いてあるな。

最後にrit.をして言葉を大切に伝えるのかな。





同じ歌詞でも強弱を変化させています。



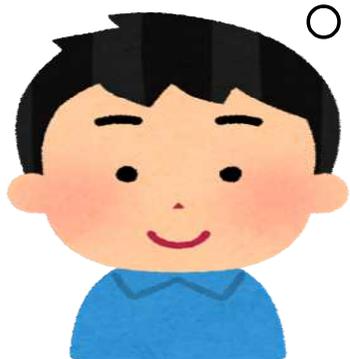
始めから流れるような速さで歌っているけれど、最後にテンポを遅くしていきます。



歌詞との関わりでどのような効果があるかな。



### ③自分の考えを再構築させる場面



同じクレッシェンド、デクレッシェンドでも違うな。作詞者の思いを伝える歌い方が大切だな。

作曲者が示したテンポは歌詞の内容を伝えるのに合っているんだな。楽しく歌うだけでなく、情景が思い浮かぶように工夫して表現したいな。





- 1 題材目標
- 2 題材計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、  
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ

【本時で身に付けたい資質・能力】

「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、音楽表現を創意工夫することができる。

同じクレッシェンド、デクレッシェンドでも違うな。作詞者の思いを伝える歌い方が大切だな。

1曲の中で速さが変わるなあ。

- ・歌詞と強弱は関係しているな。
- ・速度について聴いてみよう。



作曲者が示したテンポは歌詞の内容を伝えるのに合っているんだな。楽しく歌うだけでなく、情景が思い浮かぶように工夫して表現したいな。

〇〇さんの気付いた強弱はどこかな。

目的意識

【本時で身に付けたい資質・能力】

「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、音楽表現を創意工夫することができる。

今までの知識や、新たな知識を結び付けて、歌唱活動に生かそうとする。

歌唱して気付いた情報を楽譜と確認しながら整理する。

曲を歌唱して、音楽を形づくっている要素に気付く。



相手の気付きから、自分の考えを広げていく。

相手の考えや情報と楽譜を比較する。

目的意識